

小樽市歴史的風致維持向上協議会からの指摘事項及び対応状況

(共通事項)

- 意見・助言欄の末尾の数字は、何回目の協議会の意見等なのかを示しています。
- 誤字・脱字などの記載ミスや重複する意見については省略しています。
- 表の右側のページ数は、前回（第6回）及び今回（第7回）の計画（素案）のページ数を示しています。また、第7回より通し番号で整理しています。

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
全体	章ごとのページ割りになっていて分かりにくい。⑥	計画書全体を通し番号に修正した。	—	—

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
序章	運河論争前の段階で、有幌倉庫群が解体されることに危機感を感じ、運河論争に火がついていった経緯を記載してほしい。⑥	有幌倉庫群が解体される様子を目の当たりにし、危機感を抱いた市民が運河保存運動を展開したことを記載するとともに文章全体を精査した。	2	2

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
第1章	後に運河と通称されたわけではなく、計画段階から運河と呼ばれていた。⑥	舁荷役のための運河が整備されたと修正した。	3	7
	オーバーツーリズムの意識があってもよいのではないか。⑥	記載内容を検討中。（直近の観光入込客数やオーバーツーリズム等が課題であることを反映した内容に修正する。）	18	22
	中央の建築家だけでなく、地元の成田幸一郎や土肥秀二がリードして小樽の建築に関わっていくということを記載した方がよいのではないか。⑥	地元の建築家の成田幸一郎が小樽市庁舎を、土肥秀二が旧小樽商工会議所を設計したことを記載した。	35	39

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
第2章 1 海に関わる営み	(1) 旧ヲシヨロ場所の営みにみる歴史的風致			
	忍路鯨漁撈の行事に係るチラシの配布について、チラシをもらった人が今年も開催されると思うことができる意味の記載を追加してほしい。	網おろしの前にチラシを配布する姿と当日の音の広がりから地元住民が春の訪れを感じる様子を記載した。	9	73
	「鯨漁撈の歌を唄いながら」とあるが、切り声であれば、ずっと唄いながらではないので、表現を精査したほうがよい。⑥	軒花が掲げられた家の前では切り声を掛けながら地区一円を渡御すると修正した。	11	75
	コラムのヲタルナイ場所で、どこにあるのかの記載がない。5ページの各場所の範囲図にある河川名を新川（ヲタルナイ川）とし、オコバチ川はヲコバチ川と表記するとよい。⑥	5ページの図にある河川名を、於古発川（ヲコバチ川）と新川（ヲタルナイ川）に修正した。	5、 22	69、 87
	(2) 旧タカシマ場所の営みにみる歴史的風致			
	—	—		

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
第2章 2 まちづくりの変遷	(1) 港と鉄道を背景としたまちづくりにみる歴史的風致			
	手宮にはかつて鉄道官舎群があり、現在、鉄道官舎は取り壊されたが、そこに市営住宅が建設され、市民の変わらない暮らしがある。手宮地区の鉄道のまちとしての特性と合わせて記載できないか。⑥	記載内容を検討中。	25～	90～
	手宮だけでなく、小樽のまちなみそのものが手宮線の鉄路と付随しているものとつながられるのではないか。⑥	記載内容を検討中。	25～	90～
	鉄道車両も建造物として記載してほしい。⑥	建造物ではあるが、個々の鉄道車両を活動に絡めて記載することが難しいため、コラムで概要を記載することを検討中。	25～	90～
	旧手宮線の50年根拠として、線路脇の工作物などを含めて50年経過していることを記載した方がよいのではないか。⑥	航空写真の比較を掲載することで、当時の路線（路盤）が変わっていないことを記載した。線路脇の工作物についても記載する予定。	28	95
	コラムの勝納川について、水質の良さというより、安定した伏流水という表現の方が誤解がないのではないか。⑥	伏流水の水質の良さと安定した水量に修正した。	41	109
	(2) 運河保存運動をはじめとするまちづくりにみる歴史的風致			
	建造物等を記載する順番が、年代順なのか地図順なのか分からず読みにくい。③	地図順で修正した。また、建造物が重複する場合は〇〇ページ参照と記載し、建造物が多い場合は一覧表で整理することとした。	44～	113～

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
第2章 3 祭りの賑わい	(共通)			
	「道南を除く北海道の神社の多くは」という文章は、小樽に関係ないので記載を省き、3段落目に「小樽市内の神社が～」と記載するのがよい。次の段落の「近年は車を使っている神輿渡御も見られるが…」の後に、歴史的な兼ね合い（背景）を記載してもよいのではないかと。⑥	道南部分の記載を削除した。また、歴史的な兼ね合いの記載について検討中。	67	137
	コラムの塩谷神社の松前奴について、月島奴ではなく、写真に赤坂奴の紋がみられる。記載には注意が必要である。⑤	記載内容を検討中。	105	178
	コラムの榎里神社で、網元であった原田治五右衛門の名前があり、その前に「福山（現松前町）」とあるが間違いないか。福島町の土門という家系と住吉と原田は福島町の船主の漁師だった。福島町との関わりがあることも含め、福島町史を引用したのか不明だが注意が必要。榎里神社は棟札がたくさんあり、江差町の藤枝家、福島町の小瀬家、石狩市の藤枝家の神主さんと繋がりがある。明治26年に常盤井家が関わったが、福島大神宮だけの関わりではないことに注意が必要である。⑥	記載内容を検討中。（常盤井家、藤枝家の関わりまでは把握できなかったため、詳細な部分を削除したものを修正案として記載した。）	107	179
	神社の建築様式に誤りがある。社殿は曖昧な表現である。⑤	建築様式を精査した。また、神社の名称の記載は、神社名に本殿や拝殿などを付て修正した。	69～	139～
	注釈や引用文献を章ごとにまとめるといった整理が必要である。⑤	整理方法を検討中。（巻末資料に参考文献を追加した。）	—	—
	(1) 潮見ヶ岡神社			
	松前神楽について、第1章と第2章の整合性について議論した方がよい。第2章をいじりすぎてもよくないのではないかと。⑥	松前神楽に関する第1章と第2章の記載について検討中。なお、第2章は、祭りとの関連や、どのように伝承しているのかを修正案として記載した。	第2章 70 第1章 42	第2章 140 第1章 45
	写真の四ヶ散米舞について、神楽面をつけずに踊るとなっているが、神楽の場合は「踊る」より、「舞う」や「奉奏」の方がよい。また、歴史的なところを省いて、活動に関連する内容を厚くする方がよいのではないかと。⑥	神楽に関連する記載について、「舞う」や「奉奏」に修正した。また、活動の記載を全体的に修正した。	70	139～
	(2) 水天宮			
	—	—	—	—
	(3) 龍宮神社			
	龍宮神社周辺の建造物で、潮まつりと同じ写真、同じ文言のものが問題ないのか。⑤	重複する建造物について、〇〇ページ参照として整理した。（共通）	79～ 94	151 167～
	(4) 住吉神社			
	住吉神社の太々神楽が例大祭に向けて行われるような記載になっているが、様々な祭礼のときに見ることができる。⑤	例大祭をはじめとする祭礼行事において奉納されているに修正した。	89	161
	—	—	—	—

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
第2章 4 景勝地の 行楽など	(1) 小樽公園			
	—	—	—	—
	(2) 手宮公園			
	—	—	—	—
	(3) 天狗山			
	—	—	—	—
	(4) 高島岬			
	—	—	—	—

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
第3章	文化財を一時的に請け負い、商売する人が外から入ってきている。事業が成立しなくなった時の問題があるため、重点区域内の建造物を売買の条項で縛れないか。⑥	他都市の事例などを調査・研究する。	2～20	214～ 232

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
第4章	日本郵船について、最新の写真に差し替えてもらいたい。⑥	差替えを予定。	19	253

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
第5章	—	—	—	—

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
第6章	—	—	—	—

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
第7章	建造物を解体しなければならない状況になったときに、調査して記録を残すシステムが必要である。⑥	記載内容を検討中。	—	—
	建造物の写真について、あおりは仕方ないとして、中心軸が統一されていると、資料としての完成度があがるのではないか。⑥	写真の差し替えを検討する。	3～ 14	305～ 316

章	意見・助言	対応状況	第6回 ページ	第7回 ページ
第8章	—	—	—	—